

2019年度 昭和薬科大学地域連携推進事業 生涯学習研修講座
薬科大学の特色を活かした地域連携のあり方を考える

第3回

「ダメ。ゼッタイ。」から一步踏み込む 薬物乱用防止教育

2020年2月2日(日)

10:00-12:00 講演

排除ではなく理解を：新しい視点からの
薬物乱用防止教育がなぜいま必要なのか



松本 俊彦 先生

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
薬物依存研究部 部長 薬物依存症センター 長

12:00-13:00 ワークショップ

みんなで考える薬物乱用防止教育の進め方

会場：昭和薬科大学 講義棟 1階 第一教室
東京都町田市東玉川学園 3-3165

松本俊彦先生プロフィール：

1993年、佐賀医科大学卒業。横浜市立大学医学部附属病院での初期臨床研修修了後、国立横浜病院精神科シニアレジデント、神奈川県立精神医療センター医師、横浜市立大学医学部附属病院精神科助手、医局長を経て、2004年に国立精神・神経センター（現、国立精神・神経医療研究センター）精神保健研究所 司法精神医学研究部専門医療・社会復帰研究室長に就任。以後、同研究所 自殺予防総合対策センター自殺実態分析室長、同 副センター長などを歴任し、2015年より同研究所 薬物依存研究部 部長に就任。さらに2017年より国立精神・神経医療研究センター病院 薬物依存症治療センター センター長を併任。日本アルコール・アディクション医学会理事、日本精神科救急学会理事。「薬物依存症」（筑摩書房2018）等著書、受賞多数。

キーワード：教育、公衆衛生、健康管理、薬事行政・医療行政

対象：薬剤師、養護教諭はじめ学校の先生方、市民、学生

単位：（公財）日本薬剤師研修センター認定シール（2単位）

受講料：無料

事前申し込み制



【主催・企画担当】学校法人 昭和薬科大学（地域連携推進事業）

【共催】（一社）町田市薬剤師会、（公財）日本薬剤師研修センター

【協賛】薬樹株式会社、総合メディカル株式会社、アイセイ株式会社、（一社）町田市医師会